

既ニ説明スルガ如ク、元祖ニモ祖師ト違フテアル事ハ殆ドナイ。只其説ガ明白  
 デナイ、ソレハ外境ノ壓迫ヲ恐レラレルカラデ、雜行ヲ棄ルト云ナガラ、是モ亦  
 棄ヌヤウデモアル、併シソレハ本意デナイ、又組織的ノ教デナイ。二雙四重トカ  
 、三願三機トカ、淨土ノ報化トカ、要眞弘ノ三門トカ、四法ノ建立、因願成就ノ  
 交際、行信體相ノ説明等、祖師ノ如ク一糸亂レズト云フ化儀デナイ、殊ニ漢和燈  
 錄ハ殆ド適從スル所ガワカラヌ位デアル、攙入或ハ質僞ニ屬スルモノアルカチ疑  
 ハシム、是ヲ以テ針路ヲ一定セントスルハ、無理ノ甚シイ者デ、船師タル者航旅  
 者タル者、方向ヲ誤ルハ已ムヲ得ザル結果デアル。今其方向不定ノ文ヲ舉テ指摘  
 スルハ容易ナルモ、今ノ必要ニ非ルヲ以テ之ヲ措ク、雲中ノ月以テ察スヘシ。  
 此針路ノ何ノ方位ニ向フカノ、解シガタイ著書ニ比シテ、我祖ノ選著ヲ見レバ  
 、皓月雲ヲ出ルノ感アリ、布置整列シテ因果ヲ審ニシ、本末ヲ定メ其精詳ヲ極ル  
 ハ、之ヲ教行信證ニ見ルベク、攝畧シテ其要ヲ明ニスルハ、之ヲ文類聚鈔ニ見ル  
 ベク、一代佛教ヲ其模型ニ鑄鑄スルハ、之ヲ愚禿鈔ニ見ルベク、天親曇鸞道綽善

導チ一丸トシテ、行者ノ入出二門ヲ彌陀ノ廻向トシ、根底的他力ヲ明シ、相融相  
 即ノ妙力、往ク處トシテ可ナラザルナシ。蓋衆生廻向ハ、一切菩薩ノ所行ナレバ  
 ナリ。而シテ彌陀ハ超世願王ニシテ、超勝獨妙ナレバナリ、是ヲ二門僞トス。正  
 信僞ノ相承ヲ明ス、簡ニシテ要ヲ盡クス。和讃ノ剪裁排列叙斷伏應、殆ド天工ヲ  
 奪フト云フベク、相承ノ血脈帝網ノ如シ。膽大ニシテ手細緻、本邦此技倆ニ比ス  
 ベキ者、獨弘法大師アルノミ。

祖師ノ元祖ヲ見ルハ、其引文ニ於テ知ルベシ。引文ハ其文者即チ言者ノ意チ、  
 相承スルチ明ス爲ノ引文ナレバ、引文ハ祖師ガ文者ノ意義チ、師承セラレタチ示  
 サル、者デアル。引文外ノ義門ハ何等ノ義門アリトモ、他師ノ説ヲ師承スルノデ  
 アル。祖師ガ引用セラレタ、元祖ノ文ハ僅ニ三文也。一ハ選擇集題下ノ、南無阿  
 彌陀佛往生之業念佛爲本語ナレドモ也。二ハ總結ノ、夫速欲離生死、二種勝  
 法中、且閣聖道門、選入淨土門、欲入淨土門、正雜二行中、且  
 拋諸雜行、選應歸正行、欲修於正行、正助二業中、猶傍於助

業、選應、專正定、正定之業者、即是稱佛名、稱名必得生、依佛本願故、十六句ト、正信偈中ノ還來生死ノ取意ノ文四句ト、以上ノ三文行卷ノ所引ナリ、尊號銘文モ亦此三文ヲ引ク。

然レバ祖師ノ元祖ヲ見ル、只此三義門ニ在ルノデ、眞宗法門ノ根本義ナル、彌陀廻向ハ元祖ニ依ラズ、現生不退モ元祖ニ依ラズ、廻向ハ曇鸞ニ依リ、現生不退ハ龍樹ニ依ル。然ルニ元祖ハ龍樹ヲ以テ傍依ノ師トシ、曇鸞ノ文ハ序文ニ止マリ、廻向ノ釋ハ全ク一顧セズ。

此元祖ヲ見ル祖師眼ハ、其引用セラレタ文ヨリ考レバ、第一文ハ、所修ノ行ヲ定ルノミ、第二文ハ、廢立ノ行ヲ明スノミ。第三文ハ、信疑ノ得失ヲ判ズルノミ。其他ハ元祖ノ説ク所、彌陀廻向ヲ言ヘドモ明ナラズ、平生業成ヲ云ヘドモ明ナラズ、彌陀成就ノ三心ヲ云ヘドモ明ナラズ、現生不退ヲ言ヘドモ明ナラズ、攝取不捨ヲ言ヘドモ明ナラズ、他力ヲ言ヘドモ明ナラズ、故ニ是等ノ義門ノ師承スル所ハ元祖ニ非ズ。

問曰、然ルニ祖師ハ、本師源空明ニ佛教ト云フ、何故明ナリト云フヤ。

答曰、明ナル所ハ、明佛教ノ下ニ出シテアリ。ソレハ選擇本願チ、信疑ノ得失デ明シタガ明ナ所デアル。之ヲ相承ニテ云ヘバ、佛教ト指スハ、釋迦ノ具三心者必生ニ彼國ノ文ナリ。信心ノミデ往生即成佛ヲ得ルヲ説クハ、一代經中唯大經願成就文ニ限ル。此願成就文ト同クイケレド往生ノ得果ヲ説ク、是觀經ノ腦髓ナリ。故ニ善導之ヲ釋シテ、辨定三心以爲正因ト、往生ノ正因是チオイテ他ニアランヤ。正因ヲ措イテ、他ニ腦髓アランヤ。故ニ善導三心ヲ釋シ了リ、之ヲ結テ、三心既具無ニ行不レ成願一行、既成若不レ生者、無レ有ニ是處也、又此三心亦通攝定善之義ニ應レ知ト云フ。然レバ定善モ散善モ一切ノ往生人、三心ナケレバ他ニ何ノ行業アルモ、往生スルコト能ハズ、三心是正因ナルガ故デアル。

此三心ヲ釋スル中ノ、就行立信ノ釋ニ依テ、所修ノ行ヲ往生之業念佛爲本ト定メ、廢立ヲ正トスルノ判ヲ爲シ、此行ヲ信ズルト疑フトデ、往生ノ得否ガ定マル

チ明ニシタ、是即チ元祖ノ佛教ニ明ナ處デアル。其彌陀ノ廻向、平生業成、現生不退、淨土ノ菩提心ノ如キ、元祖ノ言フテ詳ナラザルコトハ、我祖皆之ヲ詳ニス。雲中ノ月、我祖ニ至リテ大圓輪霽空ニ懸リ、光芒海山ニ滿テ照サ、ル所ナキガ如シ。

或ハ曰フ者アリ、然ラバ我祖ハ其師ニ優ルカ、弟子豈其師ニ優ランヤト。優劣ハ論ズルノ要ナシ、然レドモ弟子ノ師ニ優ルハ、達人ニ在テハ徃往アリ。弘法モ師アリ、傳教モ師アリ、未ダ其師ノ優レルヲ聞カズ。世出世ノ師資世其例乏シカラズ、我祖ノ雄大ナルハ、其判教門ニ見ルベク、精緻ナルハ、其立教釋ニ見ルベク、開宗ニ法アリ、教授ニ矩アリ、此故ニ弘願ノ眞實、之ヲ聞テ惑フ者ナシ。或ハ之アルハ故ニ異ヲ立ル者ノミ、師教ニ依ルニ非ズ、元祖門下ハ師教ニ迷フ所アリ、異流支派セザルヲ得ズ。其書ヲ讀マバ、能ク其然ルヲ知ルベシ。

我祖ハ條理整然、廻向法其根底ト爲リ、無疑心其花實トナリ、超凡入聖ノ道了々トシテ明ナルハ、祖師ノ判アリシニ依ル。祖師ナクバ此判教ナシ、此立教ナシ

此教授ナシ、故ニ御開山御出世ノ御恩ト云フ。之ヲ要言スレバ、判教ト、立教ト、其教授トナリ。

判教之ヲ愚禿鈔ニ、立教開宗ハ之ヲ教行信證ト文類聚鈔ニ、教授ハ之ヲ偈文讚文國文ノ諸書ニ見ルベク、而シテ安心ハ嚴明ヲ究メテ一毫ノ依違スル所ナシ。彌陀ノ廻向ハ元祖言フテ盡サズ、祖師ハ之ヲ清淨廻向心、眞實廻向心トス。即チ實際廻向ト菩提廻向ニシテ、衆生廻向ヲ勅命トス。三廻向成レバ、攝律儀戒、攝善法戒、攝衆生戒成ルナリ。法身、般若、解脫成ルナリ。智、斷、恩三德成ルナリ。佛教ノ通則是ノ如クニシテ、廻向ノ法門始メテ轉凡爲聖ノ理ヲ見ル。信卷本、欲生ヲ釋スル下ニ曰、微塵界有情、流轉煩惱海、漂沒生死海、無眞實廻向心。無清淨廻向心。是故如來矜哀一切苦惱群生海、行ニ菩薩行時、三業所修、乃至一念一刹那、廻向心爲首、得成就大慈悲心故、以ニ利他眞實欲生心、廻施諸有海。欲生、即是廻向心、斯則大慈悲心、故疑蓋無雜ト。清淨ノ廻向心ナク、眞實ノ廻向心ナキガ

故ニ、生死ニ流轉ス。之ヲ救フニ、清淨眞實ノ至心信樂ヲ成就ス、即是清淨ノ廻  
 向心ナリ。眞實ノ廻向心ナリ。清淨ハ即チ實際也、眞實ハ即チ菩提ナリ、是ノ如  
 ク三廻向ヲ成就シ、之ヲ衆生ニ廻施ス、是即チ三信ナリ。華嚴十廻向品、菩薩ノ  
 廻向ヲ説クコト至レリ。然ルニ未ダ、彌陀ノ如キ衆生廻向ナシ。祖師ノ釋是ノ如  
 クニシテ、斷々トシテ言ニ信心者本願力廻向信心也ト云フ。而シテ此  
 廻向ニ依テ獲ル所ナルガ故ニ無信心ノ一、徹底シテ一切ヲ了ス。利刃竹ヲ割リ、  
 順流舟ヲ遣ルガ如シ。

於レ是 果徳ノ廻向成ル、故ニ前念命終後念即生ナリ。故ニ不退ハ等覺ナリ、往  
 生ハ成佛ナリ、故ニ此心ハ大菩提心ナリ、故ニ金剛心ナリ、故ニ大會衆ニ入ル。  
 之ヲ證スルニ、本經三十三、三十四二願ヲ以テシ。如來會ノ成就文ヲ以テシ、龍  
 樹ノ即時入必定ヲ以テシテ、根據アリ、理證アリ、動カスヘカラズ。元祖言ハン  
 トシテ盡サバル者、彌陀法ノ重大事項咸ク、我祖ニ至リテ明ナリ。其人ノ優劣ノ  
 如クハ、人ノ評スルニ任ス。我祖出世ナクバ、如何ゾ此重大事ヲ明ニスルコトヲ

得ン。御開山御出世ノ御恩ト云ハレタハ、其血統ノ祖ナルガ爲ニ私セラル、ニ非  
 ルナリ。

以上ニテ、信心是彌陀廻向ノ信心ナルガ故ニ、信心即往生成佛ノ正因ナルコト  
 ハ知ルベク。之ヲ明ニセラレタハ祖師ノ特殊ナル眼光ノ、照シ出シタル所ナルハ  
 勿論ナルガ、吾人ハ明治二十三年、文類聚鈔ヲ講シタル時、南條文雄ヨリ、梵本  
 大經ニ就テ、驚クベキ發見ヲ得ルノ幸福ヲ與ヘラレ、當時ノ講演ニ之ヲ披露シテ  
 、祖師眼ノ敬服スベキヲ辨ジタリ。然ルニ今此改悔文ヲ解釋スルニ當リ、京都西  
 村護法館主ヨリ、極樂莊嚴ナル一書ヲ郵送セラレタリ。忙手披閱スレバ、大谷光  
 瑞君ガ、大正七年六月ヨリ八回ニワタリ、大連本願寺別院ニテ講演セラレタ、大  
 經ノ略解的筆記ヲ印刷セル者デ、トリアヘズ因願ト成就ト智慧段トハ、如何ニ解  
 セラレタカチ査閲セシニ、恰モ吾人ト同意見デアツテ、吾人ノ考ノ不當ナラザリ  
 シヲ喜ブト共ニ、彌他力信心ガ、尋常言フ所ノ信ト同視スルチ、許サヌヲ張目大  
 呼セネバナラヌ理由チ、同朋同行ノ人ニ傳フルノ幸ヲ祝シタ。

今之ヲ同朋同行ト共ニ、廻向ノ信心ナルコトヲ明ニスルガ爲ニ、極樂莊嚴ノ説ヲ舉ゲ、猶幸ニ文類聚鈔ノ講本、篋底ニ保存シ在ルヲ以テ、是ヲモ鈔出シテ祖師眼光ガ、翻譯文ノ裏面ニマデ透徹シテ、佛意ヲ明ニセラレタコトヲ詳ニスベシ。極樂莊嚴一八、諸有衆生、其名號ヲ聞テ、信心歡喜シ、乃至一念セン、至心ニ廻向シテ、彼國ニ生ント願スレバ、即チ往生ヲ得、不退轉ニ住セン、唯五逆ト、正法ヲ誹謗センヲバ除ク。此文ノ讀法ヲ祖法ニ依

中畧

原文ノ成就文、

tat-kasya hetoh ye kecit-sattvās-kasya bhagavato'mitābhasya nāmadheyam śrīnavantī  
 其ノ何ノ 因由 何人ニモセヨ・有情衆生・彼ノ 世尊 無量光 名號 聞  
 gṛtvā cāntāsa eka-citotpādānany-allyāsayena prasāda-da-sahagatena cittaṃ-utpādāyanti  
 聞テ 下至 一念 發起 信心 歡喜ヲ伴ヘル 念 發起  
 te sarve'vāivārikakāyān santy-ānutkarāḥ saṃyaksambodhīh  
 彼等 一切 不退轉位 アリ 無上 正等 覺

原本成就文ノ譯文、

ソレハ何ノ故ニカ、如何ナル彼等衆生ニセヨ、彼無量光世尊ノ名號ヲ聞キテ、

少クトモ(一至)一念發起ノ間タリトモ、信心ニヨリテ歡喜ヲ伴フニヨリ、念チ發起スルトキハ、彼等ハ凡テ、(即チ彼等一切衆生ハ)無上正等覺ヨリ、退轉セザル位ニ住スベシ。

此第十八願文ニ書テアル中ノ重要ノ所ハ、我名ヲ聞ト云フコトデ

是ハ梵本ノ第十八願ハ、光瑞君ノ譯文ニ、若シ世尊ヨ、我レ菩提ニ到達セル後、無量無數ノ佛國ニ於テ、彼等諸有情ハ、我名ヲ聞テ、此佛國ニ生ル、爲ニ念ヲ起スベシ、又所有善根ヲ廻向スベシ、彼等ハ下至十念、發起シ相續スルコトニヨリ、此佛國ニ生レシメザル其間ハ、我ハ正徧智ヲ證得セザルベシ、唯無間業ヲ作ルモノト、正法ノ誹謗ト、障礙ヲ作者トヲ除ク。

アリマス。トコロガ、サンガバルマン 康僧 譯ノ願文ニ、我名ヲ聞テト云フ字ガヌケテ居ル、是ハ此人ノ翻譯シタ所ノ原文ガ、不完全デアツタト、私ハ思マス。ソレカラ、ボデルチ 唐ノ菩提流支 譯ニハ、我名ヲ聞已リテト云フ字ガハイリテ居ル、釋尊ガ、其願ガ、此ノ如ク成功シテ居ルト云タト云フ文ニモ、其名號ヲ聞キト書テアル。原文ノ方ニハ兩方共、我名ヲ聞テト云フコトニナツテ居ル。猶成就文ノ方ハ、非常ニ丁寧ナ名ヲ用ヒテ、彼無量光世尊ノ名ヲ聞キ、聞キテ云々ト書テアリ

マス。ソレデドウシテモ、此聞ト云フコトガ、一番肝要ナ件デアアルコトガ解リマ  
ス。略節

其聞タアトガ漢文ノ方ニハ、信ズルト云フ字ヲ明ニ、サンガバルマン譯ニ附ケテ  
來テ居ル。即チ至心ニ信樂スルト云フ字ヲ、使テ居ル。ボデイルチ譯ノ方ハ、信  
ズルト云フ字ヲ使ハズ、アラユル善根ヲ至心ニ廻向スルト云フコトニナツテ居ル  
。ソレカラ原文ノ方ニモ、所有善根ヲ廻向スベシト出テ居ルガ、信ズルト云フ字  
ハ出テ居リマセヌ。茲ニ疑義ガアリマス。ソレデ成就文ヲツケテオカナケレバ、  
疑チハラスコトガ出來ナイ。其疑義ト申マスノハ、前ノ願文ニアル如ク、我國ニ  
生レタイト信ジナケレバナラヌト云ヒ、又アラユル善根ヲ廻向スベシト書テアル  
ガ、廻向ト云フコトハ、向フヘ向ルト云フコトデ、原文ハ Parihmayeṣu (廻向)トナ  
ツテ居リマス。略節 ソノアラユル善根ハ何デアアルカト云フト、名其物デアアル。即チ  
名其物が、アラユル善根ヲ持テ居ルノデアアル。既ニアラユルト云ヘバ、唯一ツノ  
少イ善根デハナイ、澤山ナ善根ヲモツテ行クノデアアルガ、ソレガ即チ名ヲ聞クコ

トデアアル。略節

全體コノ信ト云フ字デス、支那字ヲ使用シタ時ニハ、モウ既ニ二三プロセント  
ノ、不純分ガ雜ツテ來ルノデス。此ハドウモ致方ガゴザイマセン。今日マデ、サ  
ンスクリットノ以前カラノ正式ナ典雅ナ名句文研究ガ完全ニ、日本ニ行ハレテ居ナカツ  
タ。略節 厄介ナ支那字ヲ使ハズニ、原字ヲ使テ私ハ申上マス。

- 1. Prasāda
- 2. Śradhā

此二字デゴザイマス。之ヲ支那譯シマスト、兩方トモ信ト云フ字デゴザイマス。  
コレヨリ外ニハ使ハナイノデゴザイマスガ、二三プロセントノ不純分ガ、ドウシ  
テモ雜ルノデス。コレヲ信ノ字ダケ使フテ、極ノ純分ヲ出シタノハ親鸞聖人デア  
リマス。案ズルニ、プロセントノ説ハ、文字ノ解説ニ付テノコトデ、信  
上マス。全體始メノ、ブラサーダト申マス字ハ、頗ル面白イ字デゴザイマス。信  
ズルト云フ字デアアルト心得テ居リマスケレドモ、非常ニ意味ガ違フタ字デゴザイ  
マス。ソレデ、ブラサーダノ説明ヲ先ニ書キマス。サンスクリットノ字典ハ、英

吉利文、佛蘭西文、獨逸文ガゴザイマスガ、日本語ノハアリマセヌ。ソレデ英吉利譯チ、モウ一邊譯シ直サナケレバナラヌ。サテ、ブラサーダハ、コレダケノ字義ヲ有ツテ居リマス。

1. Favour 惠ミ アタクノ御蔭 恩惠

2. Kindness 親切

3. Gracious of disposition 慈悲深イ心 ヤサシイ心

4. Calmness 靜寂

5. Brightness 光輝

6. Cleanness from impurity 不淨ヲ除ク 不淨ヨリ解脱スル

ソレ故ニ、ブラサーダト云フ字ハ、チヨットコ、デ信ズルト云フヤウナ字デハゴザイマセン。コレデ説明ガ完全ニツクノデス、吾々ノ如キ凡庸ノ者デモ説明ガ出來マス。ソレデハ全體、ブラサーダト云フ字ハドウ云フモノカト云ヘバ、如來ノ惠ミデアル、如來ノ親切デアルト云フコトニナリマス。コレガ如來ノ慈悲デアリ

マス、サウシテガタ／＼シタモノデハナイ、極靜ナ大安慰ヲ得タ所ノモノデアリマス。マタソレハ暗リデハナイ、光リ輝イテ居ルモノデアル。一切不淨ノ取り除カレタトコロノ、非常ニ綺麗ナモノデアリマス。要スルニ、佛ノ心デアルト云フコトニナル。

コレハ全體、ブラサード Prasad ト云フ字デス。ソレガ Prastita ニ變ツタノデス。

コレハ文法上ノ變化デ、非常ニ面白い、日本ニハナイ催起相ト云フ變化デス。催起相ト云フノハ、印度ノ文法ニアル特別ナ或ル高等ナ言語學ニアルノデゴザイマス。コレハイカナルモノカト云フト、「サウ云フヤウナ心ニナラシメル」ト云フトデ、マコトニムツカシイ字デス。ツマリソウ云フ心持チチ、催起サシメルト云フコトデアリマス。略節  
次ニ Sraddha ト云フ字ヲ説明致シマス。コレニハ次ノ如キ意味ヲ、含ンデ居リマス。

1. Trust 信ズル

- 2. Faith 信仰
- 3. Belief 信仰
- 4. Intimacy 親シイ・親睦
- 5. Familiarity 親和
- 6. Respect 尊敬
- 7. Strenge desire 熱望

コレガ所謂、信ト云フ字デアリマス。普通ニ信ト云フハ、シラードハチ云フノデ、先程申シタ、ブラサーダノヤウニ、佛ノ心ノヤウニ、此方ノ心ヲ起サシメルト云フ、六ヶ敷ノデハアリマセン。ソレデ、淨信等ト譯シテ居リマス。

此前ニ差上マシタ刷物ノ、原本ノ十八願成就文ニハ、成程シラードハノ字ヲ使フテ居ラヌ、ブラサーダト云フ字ヲ使フテ居リマス。私ハ歡喜ト云フ譯ヲアテ、オイタ、經ノ原文デ見ルト使ヒ分ケテアル。前ノ分ニハブラサトダト書キ、阿彌陀ノ佛智ヲ信スルト云フ方ニハ、シラードハト云フ字ヲ使フテアリマス。ナゼ

カト云フト、ソレガ化生スルカ、胎生スルカ、此二ツノ原因、結果ヲ議論シテ居ル場合デアリマスカラ、ソレヲタシカニ信ジタカ、信ジナカツタカ、斯フ云フ問題ニナリマスカラ、通常ノ信スルト云フ字ヲ使ハナケレバ、意味ヲナシマセン。畧

Adhyasayana 此字ハ、私ガ此經典ノ願文ヲ譯シマシタウチデ、一番困ツタ字デゴザイマス。字引ヲ引キマシテモ、自分ノ學力デハ意味ガ分リマセン。非常ニ困リマシタ、シカモ一番大切ナトコロニ、此字ガ入レテゴザイマスカラ、頗ル深い意味ノ字ダト思ヒマシタガ、ドウモ私ノ學力デ調ベテモ分リマセン。京都大學ノ、紳亮三郎博士ニ調ベテ貰テ、イロ／＼苦心ノ結果、漸ク分リマシタ。コレガマタ、マコトニ面白イ字デゴザイマス。コノ字ハ、adhi + sayana デアリマス。アデーハ接頭詞デゴザイマシテ、増上ノ意味デアリマス。エ、ハ同ジク接頭詞デアリマシテ、「ニ向ツテ」「ニ對シテ」トイフ意味デアリマス。

sayana ハ、sayana ノ字ノ變化デアツテ、睡眠、横臥、傾向ノ義デアリマス。ソレデ sayana ハ、横臥、休息、信賴、專心、傾心、等ノ意味ガアルノデ、ソノアシャーニ、増上ノ意味ノアル、アデーノ



接頭詞ヲ、結び付ケタノデアルカラ、アドヒヤンヤーハ、一層意味ヲ強メテ、佛力ニ全ク傾心シ、毫末ノ遲疑雜念憂慮ヲ間ヘズ、大安樂ノ相ヲ表ハシテ居ルノデアリマス。即チ絶對他力ヲ示シタモノデ、コノアドヒヤンヤーヲ信心ト譯シテ居リマス。以上ガ光瑞君ノ説デアル。自分ガ明治二十三年ニ、願成就ノ信心ヲ講ジタ時ハ、ブラサーダデ講ジタ。光瑞君ハサンスクリットノ、堂ニ入タ學者デアル。自分ハサンスクリットハ知ラズ、僅ニ南條ニ依テ、其影ノ如キ形ヲ認タニ過ギヌカラ、比較ニナルベクモナイ。併シ此ブラサーダチ知テ、祖師ノ大眼高識ニ敬服シ、如來廻向ノ信ナルコトノ鑿々トシテ、根據アリ佛勅デアツテ、釐毫ノ擬議ヲ容ルベカラザルコトナルヲ、法友ト共ニスルノ喜ハ異ナル所ナシ。故ニ當時ノ講辨ノマ、チ以下ニ鈔出ス、

「ブラサーダ」ハ歡喜、心ノ安靜、仁惠、恩澤、好シト承知スルコト、法ト慈トノ一子トシテ深切ノ人ニ踰ヘタル、恩賜、安全、等ノ意味ヲ有ス、廻向ノ義アルコト知ルベシ。今家ニ信心ノ體ヲ、信ノ心所トセズシテ、名號ヲ體トスルコト、

梵本ニ依レバ祖師ノ卓見ヲ知ルニ足ル。十一ノ善ノ心所ノ、信ノ心所ノ信ハ、梵ニ「スラドドハ」ト云フ。今ハブラサーダナレバ、全ク別字ナリ。然ルチ他流ニ信心ヲ、信ノ心所等ヲ體トスト云フハ、誤ナルコト知ルベシ、祖師ハ心所ヲ以テ、信心ヲ談ゼズ、全ク佛智廻向ノ信トス。今家ノ僧侶ニシテ、是等ノ別モワキマヘズ、口ニハ廻向ノ信心ト云ナガラ、其云フ所ヲ聞ケバ、或ハ信ノ心所ノ如ク云ヒ、又ハ意業ヲ以テ信心ト爲ス、慨クベキコトナリ。以上講釋

此外ニ願成就梵文ノ全文ニ就テ講ジタレドモ、次ニ出ス現生不退ノ外ハ、今ハ必要ナキヲ以テ之ヲ出サズ。光瑞君ノ説ハ委曲ナルノミナラズ、引用シテ法友諸君ノ知ラレルコトヲ希望スルヲ以テ、マ、節略シタルモ長文ヲ掲出スルニ至レリ。猶此信心ガ廻向即チ恩澤恩賜ハ、不爲大施主普濟諸貧苦ノ義ナレバ、佛心ノ廻向ナルヲ以テ、住不退轉ハ其徳用トシテ、現生即チ此信ノ一念ニ獲ラレルノデア

ル。以下ハ前年ノ文類聚鈔ノ、住不退轉ノ講釋ナリ。  
梵本ニハ住不退轉ノ一句ニ當ル文ノミナリ。即得往生ノ文ナシ文ニ云、トサハドヒヤンヤーハ、一層意味ヲ強メテ、佛力ニ全ク傾心シ、毫末ノ遲疑雜念憂慮ヲ間ヘズ、大安樂ノ相ヲ表ハシテ居ルノデアリマス。

カタヤム、サマテ、アトタラヤフ、サマヤクサン、ホーテヘフ、  
 彼等一切ノ者共ハ、ナリ。十即十生百即百生ノコ、ロナリ。ヴィヴルチカタ、ハ  
 不退轉ノ位ニ於テ、ナリ。サヌター、ハ、他働體現在時法ニシテ、彼等ハ住スル  
 トイフコ、ロナリ。アヌトタラヤフ、ハ、阿耨多羅ナリ、無上ナルヨリノコ、  
 ロ、サムヤクサムボーデヘフ、ハ、三藐三菩提ニテ、正等覺ヨリノコ、ロナリ。  
 之ヲ譯スレバ、彼等一切ノ者共ハ、無上正等覺ヨリ、退轉セザル位ニ於テ、彼等  
 ハ住スル。トナルナリ、小經ノ是諸人等、皆得不退轉於阿耨多羅、三藐三菩提  
 云フト同ジ、是明ナル現生不退ナリ。以上  
 梵本ニハ、是ノ如ク明ナル現生不退ナルニ、祖師出世以前ハ何人モ、之ヲ明ニ  
 セシ人ナシ。信心モ信ノ心所ノ信デナク、ブラサーダナル特別ノ信ナリ。恩賜ノ  
 信ナリ。是モ只恩賜ト云フタノミデハ盡サヌ故、之ヲ解釋スレバ、恩ハ彌陀ノ恩  
 徳デアル、恩徳ハ廻向ヲ以テ、我々ヲタスケタマフガ恩徳デアル。賜ハ玉篇ニハ  
 、賜ハ施也ト云ヘリ。即チ大施主ト爲ルト誓ハセラレ、廣施功德寶ト演サセラレ

タ施ナレバ、即チ廻向デアル。然バ恩賜ト云フハ、彌陀ノ恩徳ヲ以テ、我等ニ廻  
 施シタマフ信ト云フガ、ブラサーダデアル。  
 光瑞君ノ譯デハ、ブラサーダヲ歡喜トシ、アドヒヤシャーナチ、信心ト譯サレ  
 タ理由ハ、既ニ前ヘ引タ如クデ、是モ御尤デアル。併シブラサーダニモ、信ノ意  
 義ハアル。光瑞君ノブラサーダノ字義中ノ、4、5、6、三義ハ、皆信ノ義デア  
 ル。4ノ靜寂ハ、信ゼザル間ハ心ガ騒ガシイ、信ズレバ靜寂デアル。5ノ光輝ハ  
 破闇デアル。6ノ不淨ヨリ解脱スルハ淨デアツテ、信ノ性ハ淨デアル。大乘ノ信  
 ノ定義ハ、深忍樂欲心淨爲レ性ト云フノデアレバ、不淨ヲ解脱スルハ信ノ  
 本質デアアル。

元來信心ト歡喜トハ、信ノ中ノ因果二義デ、信ニハ因果二義ガ具スル、忍樂欲  
 ト云フガ即チソレデ、忍ハ認可ノ義デ信中ノ因、樂欲ハ佛法ノ信ハ上位ニ進ムニ  
 就テノ信、即チ迷ノ衆生ガ佛ト云フ上位ニ成ル、希望ヲ達スル爲ノ信ナル故、樂  
 欲ガ具スル即チ信中ノ果、此因果ハ、一念同時ニ在ル因果デアアルカラ、之ヲ信樂

ト云フ。信樂ヲ願成就文デハ信心歡喜ト説セラレ、又流通附屬ニ至ツテハ信樂受持ト説セラレテアル。ソレ故フラサーダニモ、アドヒヤシャーナニモ、信ノ義モ樂即チ歡喜ノ義モアル。光瑞君ガアドヒヤシャーナニ、横臥休息信賴等ノ字義ヲ出サレテアル。横臥休息ナドハ安穩心ヲ云フノデ、希望處ヲ得ルニ安心シタ心デアルカラ、決定ノ樂欲デアル。自分ノ講辯ヲシラベテ見タガ、アドフヤーシャーエナトナツテ居元ニナイカラシユ。故ニアドヒヤシャーナ、ト、ブラサーダ、トハ合シテハ信樂、開ケバ信心歡喜デアアル。而シテ行者ノ領受ノ手前デハ、信ズル一念ノミデ、此因果ニ義ハ具シテアルノデアアル。

梵本デハカクマデ、明ニナツテアル彌陀ノ恩賜即チ廻向、光瑞君ノ譯デハ惠ミ、アナタノ御蔭、恩惠、即チ廻向ノ信心デアリ。不退轉モ明々白々ノ現生不退ナルニ拘ラス、祖師ノ出世マデハ一向ニワカラナカツタ。元祖ニハ彌陀成就ノ三心、廻向ノ名號、現生ノ不退、其釋全クナイデハナケレドモ、シカトシタコトガワカラヌ。祖師出世アリテ、闇夜ニ白日ノ出タルガ如ク、他力廻向ノ信ニ依テ、現

生ニ不退ノ位ニ住スルコトガ、明ニ心得ワケラレルヤウニナツタ。祖師ノ眼光ノ至ル所、漢文ノ大經デハ中々ワカルベキデナイ所チ、明ニサレタハ只々敬服ノ外ハナイ。實ニ御開山御出世ノ御恩デアアル。今日ト雖、光瑞君ノ説ヲ讀ダ者デナケレバ、彌陀法門ノ超世希有即チ廻向ノ信デ、心所ノ信デナイコトガ、斯ク明ニハワカラヌ、況ヤ祖師ノ時代ニ於テチヤ。若御開山御出世デナカツタナラ、我々ハ到底ワカルコトデナイ。御開山御出世ノ御恩ト、蓮師ガ仰ラレタノハ、イカニモ御尤ナ次第デアアル。

**結** 師恩ヲ感謝スルハ佛恩ニ等シ、之ヲ感謝スルニ誠實ナラバ、師説ヲ宣傳スルガ必要デアアル。然ラザレバ、感謝ト云フモ空言デアアル。

此上ハ定メオカセラル、御掟、一期チカキリ相守リ申スベク候トハ、  
**標** 此一節ハ、佛恩師恩ヲ雙結スルノナレバ、佛ノ遺命ハ勿論、既ニ一宗派トシテ存立スル以上ハ、一ノ團體ナルガ故ニ、團體ノ消長ハ團人各個ノ佛祖ニ對シ、現時ノ主長者ニ對シ、團ノ全體ニ對スル責任デアアル。故ニ一定ノ團

ノ制規ハ、守ラザルベカラズ。故ニ安心治定ノ上ハ、佛祖ノ誠飾宗派ノ制規ヲ守ルベキヲ誓言ス。

釋 掟トハ、制規ヲ云フノデアアル。但シ字書ニハ集韻ニ、揮張ナリトアルマデ、意義不分明デアアル。道書ニ天掟ト云フ熟字ガアルト云フモ、其書ヲ見ザレバ義ハワカラヌ。トニカク吾邦ニハノ中世制規法令又ハ、尊者ノ命令ヲオキテト稱シ、掟字ヲ用ヒタモノデアアル。即チ三箇條、六箇條等ノ御文ハ、此掟ヲ定メラレタモノデアアル。

又條目ヲ立テズシテ、掟トセラレタモノアリ。一帖四、二帖六、三帖十、四帖一  
等ナリ。其重複シタヲ除キテ數ヘレバ、略左ノ十箇條トナル。而ジテ何レモ、佛祖ノ意ニ依テ定メラレタモノデ、蓮師ノ私考カラ出タモノデナイ。

- 1 誹謗正法。
- 2 諸神諸佛菩薩ヲ、カロシムベカラズ。
- 3 信心決定ノ人ハ、他宗他人路次大道ニ、人ヲ憚ラズ、信心ノ讚歎スベカラ

ズ。

- 4 守護地頭ヲ、疎略ニスベカラズ。
- 5 國ノ佛法ノ非義タルハ、正義ニ趣クベシ。
- 6 宿善無宿善ヲ分別シテ、勸化スベシ。
- 7 王法ヲサキトシ、仁義ヲ本トスベシ。
- 8 坊主分ハ、相承ヲモリテ、勸化スベシ。
- 9 外相ニ念佛者タルコトヲ、街フベカラズ。
- 10 坊主分ハ、飲酒ヲ謹ムベシ。

以上テ大別スレバ、宗義ニ於テ守ルベキモノ、1. 2. 3. 5. 9. 五箇條ナリ。僧侶トシテ守ルベキモノ、6. 8. 10. 三箇條ナリ。而シテ事實ハ僧侶ニ通ズベキコトニテ、僧侶ニハ殊ニ責任重キヲ示ス者トス。4. 7. 7トハ、公私ノ世事ニ守ルベキヲ示ス者ナリ。

王法トハ、佛法ニ對スル言デ、佛法カラ國家ノ法度一切ヲ、含メテ言フ語デア

ル。蓮師御在世ノ時代ハ王政行ハレズ、殊ニ法制ノ半開時代ナレバ、漠然ノ感アレドモ、今日ニ在テハ、詔勅法令一切ヲ總シテ王法ト言フヘシ。法令ハ區域廣クシテ、之ヲ知ルハ容易ノコトニ非ズ。専門ノ學者ト雖難シトスル所ナレバ、一般ノ信者ニ及ボサントスルハ、爲シ得ベキコトニ非ズ。然レドモ憲法、又ハ教育勅語ノ如キハ、成ルベク一般ニ心得オクベキコトナリ。

法令ニハ根本法トシテ、憲法ハ大略已モ心得、人ニモ心得オカセタキコトナリ。殊ニ臣民ノ權義ヲ然リトス。依テ國民トシテ遵守シ、心得ネバナラヌ詔書等、一三三ヲ録出スヘシ。

憲法發布ノ上諭 明治二十二年 二月十一日

朕、祖宗ノ遺烈ヲ承ケ、萬世一系ノ帝位ヲ踐ミ、朕ガ、親愛スル所ノ臣民ハ、即チ朕ガ祖宗ノ、惠撫慈養シタマヒシ所ノ、臣民ナルヲ念ヒ、其康福ヲ増進シ、其懿徳良能ヲ發達セシムコトヲ願ヒ、又其翼賛ニ依リ、與ニ俱ニ、國家ノ進運ヲ扶持セムコトヲ望ミ、乃チ明治十四年十月十二日ノ詔命ヲ履踐シ、茲ニ大憲ヲ制

定シ、朕ガ、率由スル所ヲ示シ、朕ガ後嗣、及臣民、及臣民ノ子孫タル者ヲシテ、永遠ニ循行スル所ヲ知シム。

國家統治ノ大權ハ、朕ガ之ヲ祖宗ニ承ケテ、之ヲ子孫ニ傳フル所ナリ。朕及朕ガ子孫ハ、將來此憲法ノ條章ニ循ヒ、之ヲ行フコトヲ愆ラザルベシ。朕ハ、我臣民ノ權利、及財産ノ安全ヲ貴重シ、及之ヲ保護シ、此憲法、及法律ノ範圍内ニ於テ、其享有ヲ完全ナラシムベキコトヲ宣言ス。

帝國議會ハ、明治二十三年ヲ以テ之ヲ召集シ、議會開會ノ時ヲ以テ、此憲法ヲシテ、有効ナラシムルノ期トスヘシ。

將來若、此憲法ノ或ル條章ヲ改定スルノ必要ナル時宜ヲ見ルニ至ラバ、朕及朕ガ繼統ノ子孫ハ、發議ノ權ヲ執リ、之ヲ議會ニ付シ、議會ハ、此憲法ニ定メタル要件ニ依リ、之ヲ議決スルノ外、朕ガ子孫、及臣民ハ、敢テ之ガ紛更ヲ試ルコトヲ得ザルベシ。

朕ガ在廷ノ大臣ハ、朕ガ爲ニ、此憲法ヲ履行スルノ責ニ任ズベク、朕ガ、現在及

將來ノ臣民ハ、此憲法ニ對シ、永遠ニ順從ノ義務ヲ負フベシ。

教育ニ關スル勅語 明治二十三年十月二十日

朕、惟フニ、我方皇祖皇宗、國ヲ肇ムルコト宏遠ニ、徳ヲ樹ルコト深厚ナリ。我ガ臣民、克ク忠ニ、克ク孝ニ、億兆心ヲ一ニシテ、世々厥ノ美ヲ濟セルハ、此レ我が國體ノ精華ニシテ、教育ノ淵源、又實ニ此ニ存ス。爾臣民、父母ニ孝ニ、兄弟ニ友ニ、夫婦相和シ、朋友相信シ、恭儉己ヲ持シ、博愛衆ニ及ボシ、學ヲ修メ業ヲ習ヒ、以テ智能ヲ啓發シ、徳器ヲ成就シ、進デ公益ヲ廣メ、世務ヲ開キ、常ニ國憲ヲ重ジ、國法ニ遵ヒ、一旦緩急アレバ、義勇公ニ奉ジ、以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ。是ノ如キハ獨リ、朕ガ、忠良ノ臣民タルノミナラス、又以テ、爾祖先ノ遺風ヲ、顯彰スルニ足ラン。斯ノ道ハ、實ニ我皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ、子孫臣民ノ、俱ニ遵守スベキ所、之ヲ古今ニ通ジテ謬ラス、之ヲ中外ニ施シテ悖ラズ、朕、爾臣民ト俱ニ、拳々服膺シテ、咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ。

右ニ記スル上諭ト、勅語トハ、日本臣民ノ盡ク奉戴欽仰スベキ事デアツテ、此ニ遵ハヌヤウデハ、日本臣民タルコトヲ失フタト云ハネバナラス。蓮師ガ王法ヲ本トシ、仁義ヲ先トセヨト仰ラレタハ、正ニ此上諭ト勅語トニ契フノデアル。猶憲法中ニ定メサセラレタ、臣民ノ權義ヲ左ニ録出ス。

第二章 臣民權利義務

第十八條 日本臣民タルノ要件ハ、法律ノ定ムル所ニ依ル。

第十九條 日本臣民ハ、法律命令ノ定ムル所ノ資格ニ應ジ、均シク文武官ニ任ゼラレ、及其他ノ公務ニ就クコトヲ得。

第二十條 日本臣民ハ、法律ノ定ムル所ニ從ヒ、兵役ノ義務ヲ有ス。

第二十一條 日本臣民ハ、法律ノ定ムル所ニ從ヒ、納税ノ義務ヲ有ス。

第二十二條 日本臣民ハ、法律ノ範圍内ニ於テ、居住及移轉ノ自由ヲ有ス。

第二十三條 日本臣民ハ、法律ニ依ルニ非ズシテ、逮捕監禁審問處罰ヲ受ルコト

ナシ。

第二十四條 日本臣民ハ、法律ニ定メタル裁判官ノ、裁判ヲ受ルノ權ヲ、奪ハルルコトナシ。

第二十五條 日本臣民ハ、法律ニ定メタル場合ヲ除ク外、其許諾ナクシテ、住所ニ侵入セラレ、及搜索セラル、コトナシ。

第二十六條 日本臣民ハ、法律ニ定メタル場合ヲ除ク外、信書ノ秘密ヲ侵サル、コトナシ。

第二十七條 日本臣民ハ、其所有權ヲ侵サル、コトナシ。  
公益ノ爲必要ナル處分ハ、法律ノ定ムル所ニ依ル。

第二十八條 日本臣民ハ、安寧秩序ヲ妨ゲズ、  
及臣民タルノ義務ニ背カザル限ニ於テ、信教ノ自由ヲ有ス。

第二十九條 日本臣民ハ、法律ノ範圍内ニ於テ、言論著作印行集會、及結社ノ自由ヲ有ス。

第三十條 日本臣民ハ、相當ノ敬禮ヲ守リ、別ニ定ムル所ノ規定ニ從ヒ、請願ヲ爲スコトヲ得。

第三十一條 本章ニ掲ゲタル條規ハ、戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ、天皇大權ノ施行ヲ妨グルコトナシ。

第三十二條 本章ニ掲ゲタル條規ハ、陸海軍ノ法令、又ハ紀律ニ牴觸セザルモノニ限り、軍人ニ準行ス。

以上第十八條ヨリ、第三十二條ニ至ル十五箇條ハ、臣民タル者ノ權利、及義務ヲ定メサセラレタモノナレバ、國民トシテ能ク心得オクベキコトデアル。權利ハ

天皇ヨリ與ヘサセラレタ、權利デアルカラ、失ハヌヲ要シ。義務ハ天皇ヨリ命ゼラレタ義務ナル故、勤メテ義務ニ背カヌヤウニセネバナラヌ。

憲法ハ七章七十六條ヨリ成テ、第一章十七條ハ、天皇。第二章十五條ハ、臣民權利義務。第三章第三十三條ヨリ、第五十四條ニ至ル二十一箇條ハ、帝國議會。

第四章二箇條、即チ第五十五條第五十六條ハ、國務大臣、及樞密顧問。第五章司法五箇條、即チ第五十七條ヨリ、第六十一條ニ至ル第六章ハ、會計。第六十二條

法五箇條、即チ第五十七條ヨリ、第六十一條ニ至ル第六章ハ、會計。第六十二條

法五箇條、即チ第五十七條ヨリ、第六十一條ニ至ル第六章ハ、會計。第六十二條

ヨリ、第七十二條ニ至ル十一箇條、第七章補則、第七十三條ヨリ、第七十六條ニ至ル四箇條、總シテ七章七十六條ナリ。而シテ臣民ヲ第二章ニ置キ、天皇ノ次章ニ列セラレタハ、イカニ人民ヲ重視ナサレタカチ推想スベキデアル。

教育勅語ハ、吾人日本國民トシテ、必遵守スベキ人タルノ道ヲ教サセラレタノデ、忠ハ臣民トシテ、天皇ニ對シ、國家ニ對シ、盡スベキ唯一ノ道デ、是ハ忠ノ大ナル者デアル。其外部下ガ部長ニ對シ、職守アル者ガ職ニ對シ、權利ノ施行ニ關シ、義務ノ遵守ニ關シ、其忠ヲ盡サネバナラヌ。孝ハ父母ニ對スル忠テアツテ、忠ト孝トハ文字モ意義モ殊ナレドモ、忠ト孝トノ意ハ別物デナイ。共ニ誠ヲ盡スノデ、君ニ誠ヲ盡セバ忠ト名ケル、父母ニ誠ヲ盡セバ孝ト名ケル、兄弟ニ友ナルモ、夫婦ノ和ナルモ、朋友ニ信ナルモ、恭儉モ、博愛モ、忠孝ノ意ヲ以テ、之ニ推及ボセバ友トナリ、和トナリ、信トナリ、恭トナリ、愛トナルノデアル。

忠孝ハ徳義ノ大本デアル、何トナレバ、人トシテ最尊ナルハ君、最親ナルハ父母デアル。最尊ニ對スル忠ト、最親ニ對スル孝トハ、人ノ行ノ最大最勝ナル者ナレバ、此大本立テバ、友愛和信ノ諸徳ハ、皆此忠孝ノ誠ヨリ生ジ來ル。故ニ忠孝ヲ諸ノ徳行ノ大本トス。

眞宗ノ念佛者タラム人ハ、王法爲本仁義爲先ノ教誠ニ從ヒ、蓮如上人が若シ、明治大正ノ時代ニ御在世デアツタナラバ、此教育勅語又ハ憲法ニ對シテ、如何ニ懇篤ナ教ガアルベキカヲ思ヒ、國ノ爲、法ノ爲、自身ガ往生人タルヲ得タル、他力安心ノ流露トシテ、人道ニ恥ザル誠ヲ運バズシテハ、佛祖ノ冥見ニ恐レ入ルベキコトデアル。

又蓮師ノ時代ニハ、天主教、希臘教、耶穌教ナドノ外教ガナイ、今ハ外教ガ盛デアツテ、其教師ハ多ク學問廣ク、宗教外ノ醫術、工業、物理、化學、地質學、農學ノ類ニ通ジ、正義ヲ以テ自任シ、學校ヲ設ケ、救貧、育兒等、社會ノ各方面ニ其教線ヲ及ボシ、古ノ如キ教義ノ爭論、排撃ノ如キハ之ヲ避テ、專實益ヲ民間ニ與フルヲ主トスル者ノ如ク、之ヲ外道ト名ケテ毀斥スルヨリハ、良友トシ他山ノ石トシテ、見ネバナラヌヤウナ事情デアル。少クトモ、同町内ノ同業者ト云フ



相狀ニナツテ居ル。此中ニ於テ、國ノ腦髓トモ云フベキ忠孝ノ旨義ヲ忘レ、權利ハ侵サレテ何トモ思ハズ、義務ハ他人ノ事ヲ視ルガ如ク、カヘリミズト云フ行動ニ甘ンズルナラバ、卑視、劣遇、所謂馬鹿ニサレテモ、一言ナキ事トナルベク、左様ノ情態デ、四姓平等ヲ教ヘラレタ、釋尊ノ弟子ヲ以テ自居リ、恥ルコトモ知ラヌナラバ、國ノ爲ニハ國ヲ害シ、法ノ爲ニハ法ヲ害スル、獅子身中ノ虫ト爲ルノデアアル。念佛ノ信心ヲ治定シ、名號ノ主トナツタホドノ人ハ、一期ヲ限り王法爲本、仁義爲先ノ宗門ノ掟トシテ、恥シカラヌ言ト行トヲセネバナラヌ。

此言ト行トヲスルニ付テ、自分ノ意ノオキ處ト、世間即社會ニ對スル意ノオキ處トチ、心得ル必要ガアル。自分ノ意ノオキ處ハ、自利々他デアアル。社會ニ對スル意ノオキ處ハ、平等差別ノ二相ノ、一方ニ偏セヌヤウニセネバナラヌ。ソレハ何故ナレバ、自利々他ハ佛ノ大主意デアアルカラ、佛ノ大主意ヲ失フテハ佛弟子デナイ。又平等差別ハ、世間ノ實相デアアル。此世間ニ住スル一人トシテ、一方ニ偏スルハ世間相違デアアル。世間相違ハ因明ノ誠ル所デ、自モ害シ他モ害スル。ソレ

デハ自利々他ノ、佛法ノ大主意ヲ破壊スルコトニナル故ニ、一方ニ偏ラヌヤウニ注意セネバ、佛教ノ人ト云ハレヌ。

自利々他ハ佛ノ大主意デアアルカラ、佛ノ德ヲ自利々他圓滿ト云ヒ、彌陀ノ本願力廻向チ、往還二種ノ廻向ト云フ。往相廻向ハ自利圓滿ヲ與ヘ、還相廻向ハ利他圓滿ヲ與ヘラレルノデ、此圓滿ノ德ノ満足シテ顯レルハ、成佛ノ上ノコトナレドモ、此自利々他ノ德ヲ與ヘラレタ、念佛行者ナルガ故ニ、彌陀ノ心ヲ傳ヘテ、人ヲ佛ニスルコトガ出來ルコトニナツテアル。之ヲ常行大悲ノ益ト云ヒ、善導ハ自信教人信ト云ヒ、大悲傳普化眞成報佛恩ト申サレタ。是ガ佛意ニ契フ唯一ノ報佛恩ノ行デ、不斷佛種ノ大行デアアルコトハ、前ニ既ニ云フタ如クデアアル。

獲信ノ人ハ無論、云フ迄モナク自利々他ノ意ヲ、念々ニ忘レテハナラヌガ、未安心ノ人ト雖、彌陀ヲ尊シト思フホドノ人ハ、自利々他ノ意ハ、佛教者タル人ノ心ノ主人公トシ、又家ノ門札ノ如ク、兵士ノ袖章ノ如ク、公人、私人、男子、女子、農、商、工者、何人ニ拘ラズ之ヲ忘レテハ、佛教者タルノ資格ガナイ。

人ハ孤立シ、獨栖シテ、生存セラレル者デナイ。集團ヲ爲シテ、始メテ満足スルコトガ出來ル。一本ノ釘ヲ使フノデモ、鐵鑛業者ト、鍊鐵者ト、製作人ト、運送業者ト、鐵商ガナケレバ使ハレヌ。下駄ヤ、草履ノヤウナ、單純ナモノデモ、幾人カノ手ヲ歷ネバ出來ヌ。况ヤ、衣類ヤ、莊飾品ヤ、家屋ナゾニ至ツテハ、多數人ノ手ニカ、ラネバ出來ヌ。食物、飲料、器具、百般、一人孤立デ出來ルコトデナイ。是等各種ノ人が集團シテ、彼此相補フテ、紙モ、筆モ、墨モ、硯モ、ペンモ、インクモ、吸取紙モ、活字モ、本モ出來ルノデ、生存ヲ安易ナラシメルノデアレバ、互ニ其恩澤ニ浴スルノデ、即衆生ノ恩デアツテ、互ニ相惠ミ、相報フテ始メテ、歡娛平安ノ生活ガ出來得ルノデアレバ、自利々他スベキハ音、佛意ノミデナク、人間トシテノ天性デアアル。

佛ハ、人ノ本源カラ、終末ヲ究メテ明ナルカラ、人類ニ徹底スルノミナラズ、佛果上ニ至ルマデ、此ヲ以テ終始スベキ、自利々他ヲ大主意トシテ、教ラレタノデアルカラ、人間ノ天性トシテ自利々他デナケネバナラヌコトハ、之ヲ心ニ徴シ、身ニ徴シ、自ニ徴シ、他ニ徴シテ、明ナ道理ノ究極、唯一ノ結論ト知ルベキデアアル。

自利々他ノ意ガ主トナレバ、商業者ハ懸値ヲ云ハヌ、懸値ナキ正札ノ賣手ト知ラルレバ、マケヨマケラレヌノ、押問答ノ時間ノ損失ヲセヌデスム。時間ノ損失ハ命ノ損失デアツテ、而モ彼ハ懸値商人ナリ、不正直ナリト輕侮セラレ、ネバナラヌ。世界各国ヲ巡廻シテ見ルト、懸値ヲ云フ國民ハ半開鄙野ナモノニカギツテ居ル、懸値ヲ云フ商人アレバ、此國ハ品格ノワルイ國デアルト云フコトノ、看版ノヤウニナツテアル。

資本主ガ勞働者ヲ酷遇スルノモ、自利々他ヲ知ラヌカラデアアル。大地主ガ小作人ヲ苦シメルモ、同ジ病デアアル。又之ニ反シテ勞働者ガ、資本主ノ損害ハカマハヌ、己ノ給料ヲ多ク取レバヨイト云フ者、小作人ガ地主ニ、小作料ヲ納メヌト云フ類モアル。人間ノ一切ニ通ジテ、不自利不利他ノ病人ハ少カラヌ。或ハ汽車、電車ナドノ中デモ、他人ノ困ルコト、他人ノ迷惑スルコトヲ何等ノ遠慮ナク、席

ヲ譲ルト云フコトモナク、作法ノ態度ヲ改ルト云フコトモナイナド、又ハ婦人、小兒、病人ナドニ便利ヲ與ヘル等ノ、注意スルコトモセヌノ類ハ、皆自利々他ノ念ガナイカラデアル。是等ハ念佛者、佛教者ハ十分ニ、慎重ニ佛意ニ背カヌヤウニセネバナラヌ。

平等差別ノ二相モ亦、佛眼ノ照了ヨリ知ラレタ所ノ、一定不動ノ眞理デアツテ、偏重偏執スベキモノデナイ。然ルヲ或ハ差別ノ一偏ヲ執テ、其誤レルヲ知ラズ。或ハ平等ノ一偏ヲ執テ、其執ズル所ニ妄進セントスルガ如キハ、危嶮極マルコトデ、共ニ自利々他スル所以デナイ。一物ニ兩面アルヲ知ラヌハ、支那人ハ之ヲ擔板漢ト云ヒ、歐洲人ハ楯ノ一面ノミヲ見ルト云フ。

平等モ、自由モ、相對語デアアル。相對語ト云フハ、ソレニ對スル者ガアルニ依テ出來タコトヲ云フ。例セバ大ト云フハ、小ト云フ對スル者ガアルカラノ名デ、小ガナケレバ大ト云フベキ者モナイ。遠ト近ト、長ト短ト、裏ト表ト、高イト卑イトノ類、皆一方ガナケレバ一方モナイ、之ヲ相對語ト云フ。平等ハ差別ガアルカ

ラ平等ト云フノデ、差別ガナケレバ平等モナイ。自由ハ他由ニ對スル、自由ハ自由ニ由ル言行デ、他カラ起サセル言行テナイト云フ意味デ、此ニ對スレバ他ニ命令サレ、指揮サレテスルコトヲ、自ノ意思テナイガ、已ムヲ得ズスル言行デ、之ヲ抑制サレルトカ、拘束サレルトカ云フノデアアル。即チ自由ニ對スレバ他由デアアル、自由ノ語ハ自由ガアルカラ生ジタ、世間ニ在テ、帝王ハ自由ノ最上ナルベキガ、帝王ト雖自由ナラザルコト多シ。富豪ニシテ、名位勳爵ノ上位ニ在ラバ自由ナルベシ、然ルニ自由ナラザルコト多シ。自由ナラザル社會ニ生活シテ、アル部分ニ自由ナルノミ、而シテ論者云フ所ノ自由ハ、多クハ政治的ノ自由、若クハ意思ノ自由ヲ言フノデアアル。極端ノ自由、一切ノ自由ハ、人間ニハナイコトデアアル。自由平等ハ近時ノ風潮トシテ、自由平等ノ如何ナル者カヲ知ラザル人モ、口ヲ開ケバ自由平等ト云フ、自身ヲ顧ルニ自身自由ナラズ、自心ヲ省ルニ自心モ自由ナラズ、如何ゾ國家ヲ組織スル一人ニシテ、無制限ノ自由アルコトヲ得ン。但シ、昔歐洲ニ行ハレタ奴隸制度ノ如キハ、不法極マル差別ナリ、抑壓ナリデ

アツテ、是等ハ當然平等ナルベク、自由ナラシムベキモノデアル。米國ノ如キ、  
 奴隸ヲ廢スルガ爲ニ、大戦争マデシタコトデアルガ、ソレニモ拘ラズ、今猶黑人  
 ニ對シテ私刑ヲ行ヒ、學校ニモ、汽車ニモ、交際ニモ、差別スル風俗ノ牢固トシ  
 テ拔ケズ、併セテ有色人種ヲ差別スル如キハ、不法ナ差別デアル。  
 三千年昔ノ支那ノ文王ハ、聖人ト云ハレタ人デアツタガ、方七十里ノ圍ヲ持テ  
 居ラレタ、此文王ヨリ七百年餘リ後ニ、齊ノ宣王ト云フ王ガアツタ、此王ガ孟子  
 ニ問テ言フ、文王ノ圍ハ方七十里デアツタト聞クガ、自分ノ圍ハ方四十里デア  
 ル、ソレサヘ人民ガ廣イト云フテ諷ルハ何故カト、圍ト云フハ良好ナ森林ノアル所  
 ヲ選ンデ、鳥獸ノ蕃殖スル所トシ、獵場トシタモノデ、方七十里ナレバ四百九十  
 方里デ、方四十里ナレバ百六十方里デア  
 ル。依テ宣王ガ文王ノ圍甚廣大ナルニ拘  
 ラズ、人民ハ悪ク云ハナカツタヤウデア  
 ル、自分ハ百六十方里ナルニ、人民ハ廣  
 大ニ過ルト云フ、何故デア  
 ラフカト尋ネタ。孟子對ヘテ、文王ノ圍ハ薪取モ勝手  
 デアル、獵人モ自由ニ往レル、人民ト平等ニシテアル。殿下ノ圍ハ狭イケレドモ

、此圍ニ入テ獵スル者ハ、殺人ト同罪ニナサレル。ソレデハ方四十里ノ陷阱ガア  
 ルノデア  
 ル、人民ガ大ニ過ルト云ハ尤デア  
 ルト對ヘタ。カヤウノコトハ、平等ガ  
 至極宜シイ、三千年昔ノ人デモ、平等ハ今ノ文明ヲ誇ル世界ニナイコトヲ行ハレ  
 テアル。或ハ一切人民平等ニ獵シ、薪ヲ採リシタナラバ、森林鳥獸皆ナクナリハ  
 セヌカト思フ者アランモ、ソレハ制裁ガアツテ、鳥獸ノ妊メル時期ハ獵セヌトカ  
 、木材ハ寸法ノ定メニ依テ伐ルトカ、文王モ、人民モ、守ルベキ法制ガアツテ、  
 是モ亦平等ニ守ルノデ、森林鳥獸ナクナリハセヌカナドノ心配ハイラヌ。  
 一又自由ト云フモ、政事的ナラバ普通人民平等ニ、選被選權ヲ與ヘル如キ、イツ  
 カハ行ハレネバナラヌコトデア  
 ルガ、是トテモ極端ノ自由平等ハ行ハレヌ。元來  
 人間ナル者ハ、人間ト云フ名ノ上デハ平等デア  
 ルガ、其事實ハ甚不平等デア  
 ル。  
 一家三五人ノ者デスラ、智慧賢不肖アリ、壯健アリ、羸弱アリ、此不平等ナ身心  
 ノ所有者ガ、社會ヲ均等ニ平等ニセントスルナドハ妄想モ亦甚シ、ソレ故相當分  
 別アリ、讀書セル者ハ、平等ト云フモ自由ト云フモ、其間ニ差別アルトコハ承知

シテ、極端ナコトハ云ハヌ。不學無智ノ人ノ無法ナ自由平等ハ、國家モ、社會モ、眼中ニナイノデアルカラ、其禍害ハ恐ルベキモノデアアル。若シカ、ル妄想ヲ新思想ナリト誤認シ、歡迎シ、多數ノ勢力ニ依テ、平等世界ヲ出現セシメントシタナラバ、ソレコソ大變デアアル。

今專ラ世人言フ所ノ自由平等ハ、多ク政治學ニ關スルモノデ、或ハ資本、勞働ニカ論ズル所ハ、經濟的自由平等デアアルガ、佛敎ニ言フ所ノ平等ト自在トハ、基礎ハ異ナレドモ、世間相ニ言ヘバ同一トモ言フヲ得ヘシ。自由ハ英語ト Freedom、佛語ト Liberté ナ譯シタモノデ、哲學ニ言フ意思ノ自由ナドハ、佛敎ノ言フ所トモ能ク類似シ、高尚ナ說デアアルガ、今世人ノ言フ自由ハ、多ク政治上ニ言フノデアツテ、之ヲ要言スレバ、政治ニ十分ノ權利ヲ得ルコトヲ指サヤウデアアル。但シ自由モ、平等モ、自分ノミ持テ居ルノデナク、一切ノ人ガ皆、此權利ハ持テ居ルノデアカラ、他人ノ自由ヲ妨グテハ、自由ノ區域ヲ脱線シタノデ、亂暴ト改名セネバナラヌ。

平等ハ英ノ Equality、佛ノ Egalité ナ譯シタモノデ、既ニ云フガ如ク經濟的ノ說アリ、政治的ノ說アリ、社會的ノ論アリ、熱レモ立派ナ理由ハアル。然トモ差別ヲ離レタ平等ハ絶待ニ成立セヌ、宇宙ノ一切、皆差別ト平等デ存在スル。ソレチ人間獨差別ナキ平等タラントスルナラバ、宇宙ノ外ニ出ネバナラヌ。是ニ反シテ、差別ノミヲ見テ平等ヲ認メズ、階級制ヲ完全無缺ノ天則ノ如ク心得タ、專制主義ニ盲目ナル弊習カラ、習ヒ性ト成テ、或ル種族ノミ、政權モ、富貴モ、掌握シ、平等ハ全ク眼中ニ置カヌ。是モ亦宇宙間ノ道理デナイ。

宇宙間ノ實相ハ、細小ナル分子ガ集リテ一ノ體質ヲ成シテ居ル。動物モ、植物モ、金石モ、土壤モ、日月、星辰、山河、大地、一切皆是デアアル。國家ト云モ同一體質デ、上ハ帝王ヨリ下ハ細民ニ至ルマデ、人間ナル小分子ガ集合シテ成立スル、此小分子ハ皆人間ナルニ於テハ平等デアアルガ、上下幾十階級ノ生シタハ、歴史ヲ最大ノ理由トシテ、材能、地理、遭遇等ノ別ニ依テ差別相ヲ現出シ來ル。是必然ノ結果デ、差別相ナキ國家ハ、宇宙間ニハ絶待ニ存在セズ。

差別相ノ甚シキヲ專制ノ國家トス。平等ノ旨義ヲ頭腦トスルヲ、立憲ノ國家トス。立憲國ニモ、專制國ニモ、平等差別ニ關シテ各差等アリ。其宜ヲ制シテ、人民ノ幸福ヲ増進スルヲ、立憲國ノ主意トナス。

明治大帝、維新ノ始ニ膺リ、五條ノ御誓文ヲ以テ、差別相ノ上ニ平等相ヲ明ニ爲サセラレ、今日ノ隆昌ヲ見ルニ至リシハ國民ノ至幸ナリ。今ヤ歐洲ノ大戦亂平和ニ復シ、一轉シテ階級爭議勃興シ、改造解放ノ聲ハ潮ノ如ク東洋ニ入り來リ、資本主ト、勞働者ノ協調ハ、經濟的平等ヲ求ル聲デ、普通選舉權ヲ求ルハ、政治的平等ヲ希フノ聲ナリ。孰レモ相當理由ノアルコトナレバ、求ル所ハ徒事ニハ終ルマジ。今後トテモ何等ノ風潮生シ來ルヤ、計ルベカラザルモ、要スルニ數千年来、差別相ノ部分多量ナリシ後ナレバ、平等相ヲ求ル聲ハ猶多カルベシ。一昂一低シテ變遷スルハ、宇宙間ノ理數ナレバ、靜止不動デ經過スベキ人間界デナイカラ、己ムヲ得ズト云フヨリモ、進展ノ期會トシテ、益々良好ノ國家トシ、社會トスルガ、人間トシテノ至當ノ行爲デアル。

差別相ニ執着シテ、平等相ヲ知ラザル人ハ、今猶平等相ノ進展ヲ嫌フカ知ラヌガ、斯ク平等ヲ求ル聲ノ、世界ニ同情同贊ヲ得ルヤウニナツタハ、此差別相、執着者ガ玆ニ至ラシメタノデ、極マレバ變ズルハ理ノ必然デアルカラ、平等相ガ多量ノ世界トナルデアラフ。

サリナガラ、平等ト差別ハ雙存スルモノデアツテ、一方ノミニナルト云フハ、到底ナイコトデアアル。例セバ勞働者ガ、資本主ノ待遇ヲ改メシメントシテ、或ル要求ヲスルニ、勞働者ガ一黨ト爲ツテ、其要求ヲ貫徹シタト假定スル、是ハ多數ガ少數ヲ敗ツタノデ、即チ多數少數ト云フ一ノ差別相トナル。其又多數中ニ幹部ガアリ、代表者ガアリ、演說者アリ、奔走家アリ、工事ノ難易、工人ノ巧拙アリ。平等中早ク差別的階級ノ存在ヲ見ル、恰モ慶應年間、幕府ノ外國通商ヲ非難シタ志士ハ、鎖港攘夷ヲ高唱シテ幕府攻撃ノ唯一材料トシタガ、幕府倒ル、ト共ニ昨日ノ鎖港家ハ忽然革面シテ、今日ノ通商家ト爲ツタ如ク、階級打破ノ聲ノ下カラ、階級ハ出來テ居ル。

佛教デハ、平等ヲ知ラヌ差別ヲ虚假ト云ヒ、差別ヲ知ラヌ平等ヲ惡平等ト云フ。而シテ平等ハ各自自體ノ本性デアツテ、差別ハ對他ノ性用デアアル。性用ガ差別デ、本性ガ平等デアルカラ、平等ハ差別ト離ルベキ筈デナイ。此實際ヲ考究スルニ觀法ヲ用フル、觀トハ智ヲ以テ、對象ノ一切ヲ考究諦視スルヲ云フ。此考究諦視スル第一ノ觀ヲ、空觀ト云フ。空觀トハ、一切萬象ハ千變万化ナレドモ、盡ク是平等ニシテ空ナリト觀ズルナリ。萬象森然トシテ存在スルヲ、空ナリト觀ズルトハ變ナヤウナレドモ、萬象が存在スルカラ空ト觀ズルノデ、存在セヌナラ空ト云フコトモナク、平等ト云フコトモナイ。併シ現ニ在ル所ノ森羅萬象ヲ、空ト觀ズルハ無法デナイカト云フニ、ソレハ山河、大地、日月、星辰、憂喜、苦樂、屋宅、衣服、金銀、珠玉、一切盡ク微分子ノ聚合デ、因縁和合カラ現象シタノデアルカラ、一切盡ク其體ハ、分子トカ電子トカ名ケルモノ、聚散ニ名ケタモノデ、心色二法共ニ、現在見聞スル所ノモノハ假象デアルカラ、之ヲ空ト云フ。此空觀ガ成就スレバ、今度ハ假觀ヲ修スル。空觀ニ止マツテ空ナル故ニ一切平

等ト執ズレバ、世間ニ何ノ用モ爲サヌ枯木ノヤウナモノデ、ソレハ佛法デハナイ。ソコデ假象ニ對シテ如何ニ對應スベキカ、即チ佛教トシテ之ニ對スル、云爲動作ハ何トスルガ適當ナルカヲ觀ゼネバナラヌ、之ヲ假觀ト云フ。空觀ハ自利デ平等デ、假觀ハ利他デ差別デアアル。佛教デハ差別ヲ立ルハ利他ノ爲デアルガ、今人論ズル所ノ差別ハ、自利ノ爲ノ差別デアアルカラ、差別ノ爲ニ利益ヲ得ナイ者ハ、差別ヲ廢セヨト云フ。佛教ノ平等ハ自利デアアルガ、其自利ハ一切ヲ空ジタチ、自利トスルノデアアルカラ、今人論ズル所ノ利益平等トハ、企ク立場ガ別デアアル。今人ノ平等ヲ求ル者ハ、下位ニアリ、貧賤ノ地ニ在ル者デ、平等ヲ非トスル者ハ、上位ニ在リ、富貴ノ地ニ在ル者デアアルカラ、要スルニ、自身ヲ幸福ニセントシ、自身ノ幸福ヲ失ハジトスルノ争デアアル。此争ヲ絶無ナラシメルハ、自利々他ヲ基礎トシタ觀念カラ、處理シ立論セネバ、イツマデ争フテモ、相互ノ不幸ヲ招クニ止マル。猶佛教ニハ、假觀成就ノ上ニ中ヲ觀ズル。中トハ空ニモ假ニモ偏ラヌ觀テ、之ヲ單中ノ觀ト云フ。其上ニ空假中ノ三ヲ一心ニ觀ズル

之ヲ即中ノ觀ト云フ。是ガ正ニ眞理ヲ究メル觀デアツテ、眞理ハ此ニ在ルノデア  
アル。故ニ平等ニ偏スルモ、差別ニ偏スルモ、共ニ佛意デナイ。中道ニ立脚シテ  
、自利々他ヲ本意トセネバナラヌ。

結 以上説明シ來タコトハ、之ヲ要畧シテ云ヘバ、南無阿彌陀佛ノイハレニ外ナ  
ラヌ。南無阿彌陀佛ノイハレト云ハ、或ハ不審ヲ起シテ、改悔文ハ我々ノ安心  
デナイカ、ソレヲ南無阿彌陀佛ノイハレト云フハ、如何デアルト云フ人ガアルカ  
モ知レヌガ、南無阿彌陀佛ノイハレガ我々ノ安心デアアル。南無阿彌陀佛ノイハレ  
ヲ受領シタ安心デアアルカラ、他力廻向ノ信心ト云フノデアアル。ソレガ南無阿彌陀  
佛ヲ心ニ持チタノデアアルカラ、念持ノ義ト云フモノナリ。或ル人ノ書タモノヲ見  
タガ、タスケタマヘト云フ言ヲ指テ、念持ノ義ト云フヤウニ書テアツタ、是ハ  
説明ガ行届カヌ爲デアアルノカモ知レヌガ、タスケタマヘトタノムガ、念持ノ義ト  
云フノデハナイ。南無阿彌陀佛ノイハレヲ、イハレノ如ク憶念ニ、執持スルコト  
ヲ念持ト云フ。心ヲ念佛ニスルコト、南無阿彌陀佛ニスルコトヲ念持ト云フ。ソ

レハ第一ノ總説ノ下デ、委シク説明シタ如クデアアル。

此安心ヲ治定シタ人ハ、佛恩師恩ノ廣大ナルコトハ心得テ居ル筈デ、恩ヲ知ラ  
ヌ者ハ人間ト云ハレヌ。況ヤ念佛行者ガ、恩ヲ知ラヌ道理ガナイ。恩ヲ知タナラ  
、報恩ノ行ガツトマラネバナラヌ。報恩ノ行トハ、佛種不斷ノ行デアアル。維摩經  
ノ菩薩品ニハ、無盡燈ト名ケテアル。併シ凡愚ヲ正機トスル法門ナル故、凡愚ノ  
ツトマラヌ行ハ、ツトメヨト云テモ實行ガ出來ヌ故、イカナル者ニモツトマルベ  
キ、口稱念佛ヲ報恩行ト定メラレタ、但シ報恩ノ念佛デ、是デ足レリト自誇ルノ  
デハナイ、人々其人ノ程ニ應ジテ、佛種不斷ノ心懸ガナケネバナラヌ、必有ル筈  
デアアル。

此報恩ノ行爲ニハ、心ヲ盡シカチ盡サネバナラヌ故ニ、和讃ニ、如來大悲ノ恩  
德ハ、身ヲ粉ニシテモ報ズベシ、師主知識ノ恩德モ、骨ヲ碎キテモ謝スベシトア  
ル。身ヲ粉ニシ骨ヲ碎クマデモ、勇猛精進ニツトムベキコトデアアル。之ガ大略ヲ  
云ヘバ、公私内外ニ拘ラズ、佛法世法共ニ佛種不斷、即他力ノ信チエンヒトハ、



佛恩報ゼンタメニトテ、如來二種ノ廻向ヲ、十方ニヒトシクヒロムベシノ教ヲ心トシテ、佛法ヒロマレカシ、世ノ中安穩ナレノ祖語、朝家ノ御タメ、國民ノタメ、御念佛ヲ申合セタマヒ候ハバ、メデタウ候ベシノ祖訓ハ、忘レヌヤウニ心ガケ、既ニ前ニ言ヘル如ク、人ハ一人孤獨デ生活出來ルモノデナイカラ、利他ノ念ガナクテハ佛意ニ契ハズ、人道ニ背ク故ニ自信教人信ヲ、眞成報佛恩ト云フノデア。佛法既ニ自信教人信デアレバ、世法ニツケテモ人ヲ利スル心ヲ忘レテハナラヌ。已ノ好ム所ハ人モ好ム、已ノ惡ム所ハ人モ惡ム、已ト他人トハ別ナレドモ、同性質デアルカラ、利益ハ何人モ好ミ、損害ハ何人モ嫌フ。故ニ已ノ好惡スルガ如ク、人モ好惡スル、ソコデ自利々他ガ世出世共ニ必要デアアル。

此心ヲ心ノ主トシテ、官吏モ、商業者モ、工業者モ、學者モ、農業者モ、法律家モ、佛敎農業者、佛敎商業家、佛敎官吏等ノ、佛敎的自利々他ノ業務ノ仕方ヲセネバナラヌ。

一 權義ヲ守ル、

- 二 誠實ヲ守ル、
  - 三 慈愛ヲ忘レズ、
  - 四 禮節ヲ失ハズ、
  - 五 人ヲ欺カズ、
  - 六 人ニ不利ヲ與ヘズ、
  - 七 冥見ヲ恐ル、
- 之ヲ實行スルニハ勇氣ガ必要デアアル。身ヲ粉ニシ骨ヲ碎クマデハナクトモ、此祖師ノ勇氣ハ學バネバナラヌ。祖師ノ教ヲムダニシナイ勇氣ガナクテハ、此實行ハ出來ヌ。勇氣ハ六度ノ中ノ精進テ、布施モ、持戒モ、忍辱モ、禪定モ、智慧モ、精進ノ勇氣ガナクテハ行ゼラレヌ。佛法デモ、國家ノ事デモ、一切ノ事業、勇氣ナシデハ滅亡ヨリ外ナイノデアアル。
- 前記ノ七項ハ、蓮師ノ王法ヲ本トシ、仁義ヲ先トスルノ訓誡、及他ノ條項ノ旨ニ依リ、現時ノ國民ニ適當ト思フ程度ニ標出シタノデアアル。而シテ是ノ原動力ハ

自信教人信テ、自利々他ヲ出發點トシ、且ツ終始ノ目的トスル。

一三〇

改悔文解説

大正九年九月二十八日印刷  
大正九年十月五日發行

定價金壹圓五拾錢

著作者 石川 舜台

發行者 金澤市南町三十五番地 池 善平

印刷者 金澤市高岡町九十番地 明治印刷株式會社代表者 澤田助太郎

金澤市南町

發行所 觀文堂書店

電話四百八十三番  
振替金澤一七七番

324  
625

11-316

終

